



# 地球環境のために

日本ユニシスグループは、「ITが地球にできること」を環境活動におけるスローガンとし、IT企業として、事業活動を通じた環境負荷低減を推進しています。

## 日本ユニシスグループと環境の関わり

「e-環境」システムの導入、eラーニングやテレビ会議システムの利用など、ITを活用した環境推進活動に取り組み、環境負荷低減、資源の有効利用および業務効率の改善を図っています。

### 環境負荷低減に向けた「e-環境」システム

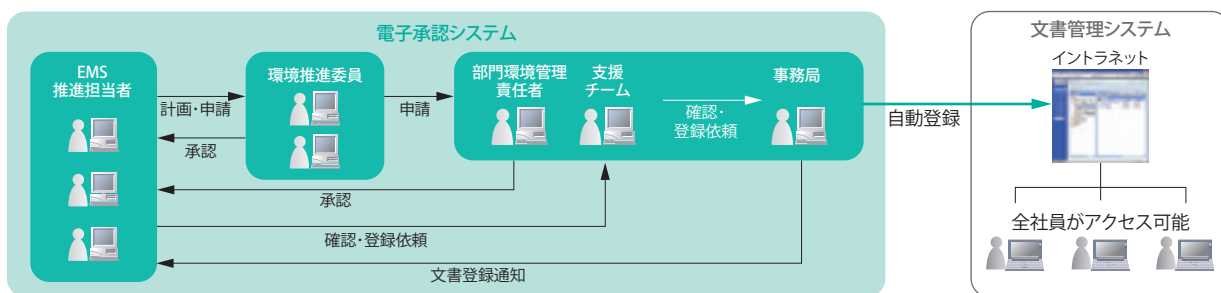
日本ユニシスグループでは、オフィスでの紙の使用量を削減するため、環境活動において「e-環境」システム（電子承認および文書管理システム）を導入しました。これにより、2006年度の紙使用削減量は、目標の35,000枚を上回る約46,000枚の削減を達成できました。

これまでは、部門ごとに作成した書類を、責任者が照査・保管

していた結果、年々紙の使用量が増え、保管のためのスペースも増え続けていました。「e-環境」システムの導入により、書類による申請・承認を全廃でき、保存・管理までを電子化することができました。これによって、紙使用量の削減だけでなく、申請の進捗状況もPCで確認でき、作業の効率化が可能となりました。

今後は、他の業務にもこのシステムを導入することで、さらなる紙使用量の削減と業務効率の向上をめざしていきます。

### 「e-環境」システム



上記図は2006年度の承認フローをイメージ化したものです

### ITによる環境負荷削減対象

eラーニングやテレビ会議システムなど、「ITを活用した環境負荷削減」を目的に、7項目の削減対象を設定しました。また、こうした活動による効果をより具体的に把握できるよう、削減効果をCO<sub>2</sub>に換算しています。

2006年度は、グループ企業5社12部門がこの活動に参加し、全体として約10t換算のCO<sub>2</sub>\*を削減することができました。この取り組みは2007年度以降も、引き続き拡大していきます。

### IT活用による環境負荷削減対象の項目

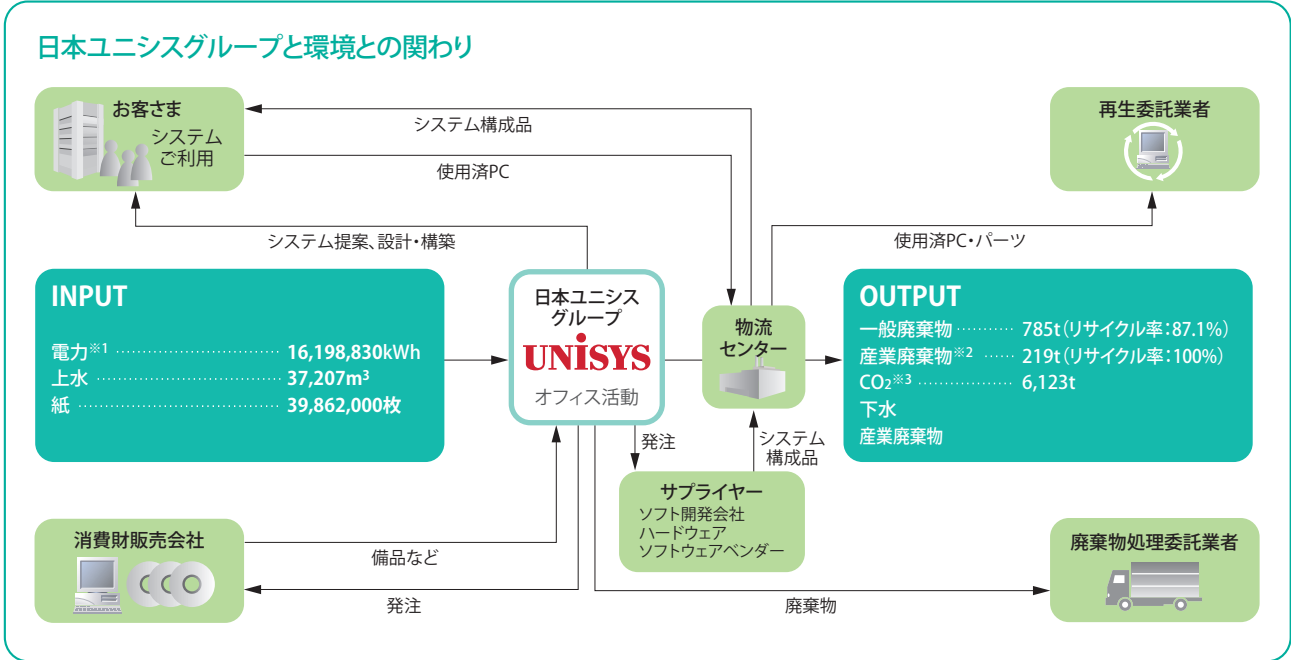
No.	削減対象	効果
1	エネルギー消費量	地球温暖化防止 (CO <sub>2</sub> 削減)
2	物の消費量	資源枯渇抑制 (化石燃料、紙使用量削減)
3	人の移動量	地球温暖化防止 (CO <sub>2</sub> 削減)
4	物の移動量	地球温暖化防止 (CO <sub>2</sub> 削減)
5	倉庫スペース	水質汚濁防止 (用水使用量削減)
6	オフィススペース	水質汚濁防止 (用水使用量削減)
7	廃棄物排出量	廃棄物発生抑制 (最終処分量削減)

\* CO<sub>2</sub>換算数値は以下の資料をもとに換算しました  
紙使用量のCO<sub>2</sub>換算：「第8回環境に関する自主行動計画フォローアップ調査結果」日本製紙連合会  
化石燃料使用量のCO<sub>2</sub>換算：「地球温暖化対策ハンドブック地域実践編 2002/2003」全国地球温暖化防止センター

### CO<sub>2</sub>削減への取り組み (抜粋)

2006年度対象部門	内容
日本ユニシス J-SOXプロジェクト部	eラーニングの導入
日本ユニシス CSR推進部	「e-環境」システムによる紙資源の削減
日本ユニシス 広報部	情報集約・Web活用によるペーパーレス化
ユニアデックス 東日本統括本部	テレビ会議システムによる移動量の削減
ユニアデックス 事業推進グループ	配布書類の電子化
日本ユニシス・ソリューション 金融第三サービス本部	テレビ会議システムによる移動量の削減
日本ユニシス・ソリューション東北支店	帳票類の電子化
日本ユニシス・ラーニング 本社	eラーニングの導入
日本ユニシス・ラーニング 大阪事業所	eラーニングの導入

## 日本ユニシスグループと環境との関わり



※1 データの範囲は豊洲ONビル(日本ユニシス本社ビル)

※2 家具・什器など

※3 16,198,830kWh×0.378kgCO<sub>2</sub>/kWh「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン」(試案ver1.6) 環境省地球環境局

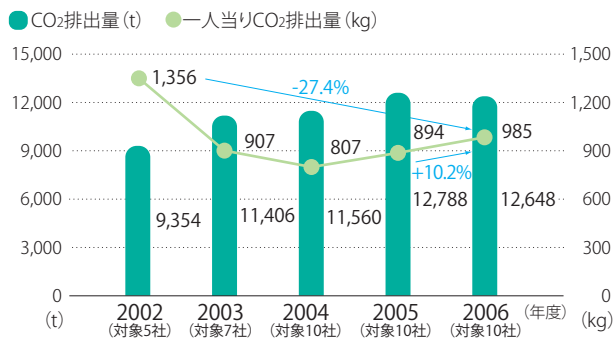
## CO<sub>2</sub>排出量の削減

2006年度の日本ユニシスグループにおけるCO<sub>2</sub>排出量は12,648トン※でした。社員一人当たりの排出量は985kgで、2002年度の1,356kgから371kg(約27.4%)減少していますが、2005年度比では91kg(約10.2%)増加しました。

2007年度以降は前年度比で下回るよう、より一層のCO<sub>2</sub>削減に努めます。

※ 対象となるグループ会社の対象サイト(ビル)での電力使用量を、環境省温室効果ガス排出量算定方法(排出係数:0.378kgCO<sub>2</sub>/kWh)に従って換算した値

### CO<sub>2</sub>排出量



## ISO14001認証取得状況

2006年度、国際システムが新たにISO14001認証を取得しました。また、日本ユニシス情報システムがユニアデックスに統合されたことで、ISO14001認証取得は日本ユニシスグループ中、10社94部門149サイトとなりました。また、日本ユニシスグループは、2006年度の日本環境認証機構の審査により、「向上」の認定を受けました。



### 2006年度ISO14001認証取得状況

会社名	サイト数	部門数
日本ユニシス	16	43
ユニアデックス	94	12
日本ユニシス・ソリューション	15	30
日本ユニシス・ラーニング	3	1
日本ユニシス・ビジネス	5	3
日本ユニシス・アカウンティング	4	1
トレードビジョン	1	1
日本ユニシス・エクセリュションズ	4	1
エイタス	4	1
国際システム	3	1

上記のサイト数、部門数は2007年3月現在のデータです